

産業精神保健研究機構 RIOMH

Research Institute of Occupational Mental Health

日本産業衛生学会 自由集会のご案内です

【テーマ】 「プレゼンティーズムおよびアブセンティーズムの疫学的評価」

【開催日時】 2017年5月11日（木） 14:40～15:40

【会場】 東京ビッグサイト TFT ビル（日本産業衛生学会産業疫学研究会）

第11会場（研修室901）※参加登録・参加費ともに不要です

宮木が世話人をしている産業衛生学会 産業疫学研究会の一環で、WHO-HPQ という生産性を主観的に評価する国際的な質問紙を用いた、我が国の研究や海外の知見を知ることができます。（すでに実施されている WHO-HPQ を活用した研究・取り組みの例は右記ご参照ください） <http://riomh.umin.jp/project.html>

プレゼンティーズム指標は世界中に複数あり、WHO-HPQ は Harvard Medical School の Ron Kessler 教授（ADHD のスクリーニングや抑うつ尺度でも有名）が開発したもので、計量心理学的にしっかり作られていて、宮木訳の公式日本語版を含め5カ国語版が無償で利用可能となっています。

<http://www.hcp.med.harvard.edu/hpq/info.php>

産業医科大独自のプレゼンティーズム指標を開発されている、産業医科大公衆衛生学松田教授の研究室からは、藤野准教授をお招きしてお話いただく予定で、プレゼンティーズム研究の最前線を垣間見れる会となっていますので、ご興味のある方はどうぞご参加ください。

（学会に参加される方は WHO-HPQ 関連の口頭・ポスター発表が数題ありますので、宜しければご覧ください）

産業精神保健研究機構 RIOMH とは

文部科学省の公的研究等で、代表理事の宮木幸一博士（国際医療福祉大学医学部・教授）が翻訳した国際的な指標であるプレゼンティーズム尺度 WHO-HPQ や発達障害傾向の評価尺度 AQ-Short の日本語版などを作成・活用し、働く方の健康に関する研究や退職者や発達障害者の就労支援活動を推進してきました。

働く方の生産性を定量評価するのに有用で海外で活用が進んでいるにもかかわらず、それまで日本語版がなかった WHO の国際的な質問紙を、宮木が翻訳・妥当性検証したプレゼンティーズム指標 WHO-HPQ 日本語版は現在では経済産業省が提唱する「健康経営銘柄」の指標としても取り上げられ注目されています。

今までの研究や診療・ボランティア経験を生かし、発達障害（自閉スペクトラム症 ASD や注意欠陥多動性障害 ADHD）による職場不適合をはじめとした難治性うつに悩む人々に、各種支援団体や大学等の研究機関と連携しながら、疫学調査・就労支援・職場復帰支援・診療・カウンセリングを通してその社会参加と自立を支援するとともに、健常な人々にもプレゼンティーズム（WHO-HPQ）と呼ばれる仕事の生産性の概念を活かして個人の能力を最大限に発揮でき、生産性が高まるような職場環境づくりに貢献することを主たる目的とする、**産業精神保健研究機構 RIOMH** を設立しました。

上述の労働生産性（仕事のパフォーマンス）を定量評価する指標 [WHO-HPQ 日本語版](#)をはじめとした、海外の優れた調査票の日本語版の作成・管理を行い、公衆衛生系の学会のみならず一般の方へも周知活動を行い、会員への会報発行や研究会の開催など、関係者に情報提供・情報交換を促進し、国際的な質問紙を用いた各種研究や共同事業をより推進していきます。

障害を持つ当事者やその関係者にとって参考になったり希望の持てる研究成果をお伝えするとともに、社会医学系研究者や各種産業保健職、労務担当者などの専門職に限らず、一般の方へも研究の成果を分かりやすく伝え、各種調査ツールを公開し、会員間の情報交換や共同研究・共同事業を促進できればと考えています。

会員の募集

産業精神保健研究機構 RIOMH では、会員の募集をしています。本会に賛同してくださり、興味のある方であれば、どなたでも入会を歓迎いたします。

会員の特典

- 本会が刊行する産業精神保健研究機構 Journal を無料で配布します。
- 本会が運営するメーリングリストによって、産業精神保健研究機構の研究の最新情報を受けとることができます。研究集会・勉強会などへの参加に加え、研究発表をすることができます。
- WHO-HPQ 日本語版により絶対的プレゼンティーズムおよび相対的プレゼンティーズムのスコア算出アルゴリズム（scoring rules）を日本語で解説したマニュアルを無償提供します。
- 当機構会員で京大同門の経済学者 菅万希子先生の手法に基づくプレゼンティーズムによる損失インパクトの経済評価結果が提供されます。プレゼンティーズムが与えるインパクトの大きさが日本円ベースで明示されているため、経営層や関係者への期待しうる効果の説明にご利用いただけます。

入会方法

産業精神保健研究機構 RIOMH ホームページより、入会申込書をダウンロードして必要事項を記載いただき、件名に「入会申し込み」として、事務局 riomh-soc@umin.sc.jp へてに添付送信ください。詳しいことはホームページをご覧ください。

振込先

- ・ゆうちょ銀行
〇一八（ゼロイチハチ）支店
普通口座：9411938
産業精神保健研究機構
(サンギョウセイシンホケンケンキュウキコウ)

【会費】会員の種類		年会費
一般会員	一般の方	5千円
企業会員 A	企業内で活用（従業員数 50 人未満）	5千円
企業会員 B	企業内で活用（従業員数 50 人以上 1000 人未満）	5万円
企業会員 C	企業内で活用（従業員数 1000 人以上）	10万円

※会計年度は4月より翌3月末まで

お知らせ

産業精神保健研究機構 RIOMH の代表理事宮木が国家戦略特区の事業として成田市に開学した、国際医療福祉大学医学部公衆衛生学分野の教授に着任しました。鈴木理事も同大医学部公衆衛生学分野に異動となりました。また RIOMH 会員の菅万希子先生が手塚山大学経営学部教授および学長補佐（地域連携・山岳連携担当）にご就任されました。新たに4月より、客員研究員として児玉が RIOMH のお手伝いをさせていただいております。

大学事務局移転（成田）と東京事務所設置も行いましたので引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

大学事務局 ☎286-8686 成田市公津の杜 4-3 国際医療福祉大学医学部公衆衛生学 WHO-HPQ 日本語版事務局